

理事会 議事要録

2006年度 第4回 理事会 (対面)

開催日時 : 2006年9月5日(火) 12:30~13:40

場 所 : 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 A103

出席者 : 田栗(会長)、鎌倉(副会長)

林、青木、濱崎、西井、岸野、富澤、栗木、清水、椿、広津 各理事

欠席者 : 藤井、渡辺、宮川 各理事

議 事 :

1. 連合大会事務局委員および企画委員について

連合大会の運営方法や現状について情報を交換した後、本学会から選出する各種委員を以下の通り選出した(敬称略)。

- (A) 連合理事会 : 広津 千尋、清水 邦夫
- (B) 連合ジャーナル検討委員会 : 西井 龍映
- (C) 連合大会企画委員 : 富澤 貞男、渡辺 美智子
- (D) 連合大会事務局委員 : 濱崎 俊光、石岡 恒憲
- (E) 統計関連大学院教育検討委員会 : 宮川 雅巳

2. 2007年度の計量生物学会との同時開催について

(1) 開催時期と場所について

来年度も従来通り計量生物学会と5月頃に同時開催し、今後はこの会合を年次大会として、総会と学会賞表彰を行うこととした。

(2) 2007年度連合大会における学会の独自性や開催方法について

連合大会における当学会の独自性の在り方について議論した。具体的にどのように運営するかについては企画理事を中心に継続して検討してもらうこととした。

3. 学会ホームページについて

学会ホームページの整備状況や懸案事項、今後の方針等について、青木庶務(情報・広報)理事から説明があった。雑誌の目次(日英)や要約(日英)の掲載については、編集理事と協力して論文誌発行後なるべく早く掲載することとした。

4. 特定領域研究への参画について

「リスク評価」関連の科研費特定領域の立ち上げに伴って、リスク研究ネットワークが立ち上がったことが、当ネットワークの事務局長でもある椿理事から報告され、その活動の現状と今後の方針について説明があった。

5. 協賛について

当学会員の赤池弘次氏(統計数理研究所名誉教授)が第22回京都賞(稲盛財団)を受賞するのに伴って「第22回京都賞記念ワークショップ」が開催されるが、このワークショップへの協賛依頼が来たので、これを審議し了承した。

6. 入退会者について

以下の入会希望者4名、および退会希望者3名について資料に基づき審議を行い、これを承認した。

・ 入会希望者(4名) :

- 間瀬 茂 (東京工業大学大学院 情報理工学研究科)
- 高橋 威知郎 (㈱エクネイクス・ラボラトリー)
- 柳原 宏和 (広島大学大学院 理学研究科)
- 熊谷 敦也 (日本大学商学部)

・ 退会希望者(3名)

7. その他

(1) 倫理規程について

日本学会会議のアンケートに端を発する倫理規程の策定について議論した。このような規程は単独の学会で策定するよりは、関連する学会で議論/検討して作成するのが望ましいとのことになり、連合理事会で検討してもらうことにした。

(2) メールを用いた場合の理事会の進行方法について

電子メールを用いた理事会の進行方法について、林庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、了承された。

報告事項等：

1. 大内賞の審査結果について

先日申請を行った大内賞について、田栗会長から経緯の説明があり、広津千尋氏の受賞が決定したことの報告があった。

2. 横幹連合の報告

横幹連合の活動について椿理事から現状報告があった。

2006年度 第5回 理事会 (メール)

開催期間：2006年12月20日(水)～12月26日(火)

開催方法：e-mailによる討議

出席者：田栗(会長)、鎌倉(副会長)

林、青木、藤井、濱崎、西井、岸野、富澤、渡辺、栗木、清水、椿、広津、宮川 各理事

議 事：

1. 統計関連学会連合理事会、および、連合大会運営委員会の委員交替について

これまで、広津委員と清水委員が出席していた統計関連学会連合の理事会(連合理事会)、および、連合大会運営委員会だが、本学会の2006年度の学会役員の交替に伴い、両会合への出席委員を田栗委員(会長)と鎌倉委員(副会長)に交替する。交替時期としては年度の区切りでもある2007年4月を目処とする。

報告事項：

1. IMPS2007への協賛

「計量心理学会国際大会(IMPS2007)」からの協賛依頼を承認した。

2. 日本リモートセンシング学会との共同セッション開催について

日本リモートセンシング学会の秋の学術講演会(11月30日～12月1日)において、当学会との共同セッションを開催し、西井、清水、柏木学会員が当学会から講演を行った。

2006年度 第6回 理事会 (メール)

開催期間：2007年1月10日(水)～1月16日(火)

開催方法：e-mailによる討議

出席者：田栗(会長)、鎌倉(副会長)、

林、青木、藤井、濱崎、西井、岸野、富澤、渡辺、栗木、清水、椿、広津、宮川 各理事

議 事：

1. 応用統計学会の年次大会・チュートリアル会場について

第4回理事会(メール)において、① 2007年5月頃に応用統計年次大会を計量生物シンポジウムと同時開催すること、② その日時・場所等については、会長が関係理事及び計量生物学会と連絡をとりながら早めに決定すること、が承認されていた。その後宮川理事のご助力を得て、東京工業大学において、5月24日～26日に上記を同時開催することになっていた。しかし、諸般の事情や年次大会・チュートリアル参加者の利便を考え、2007年度は、次のような形式で応用統計年次大会およびチュート

リアルを開催することが提案され、了承された。

5月24日(木)	応用統計学会年次大会	於 東京工業大学(大岡山)
5月25日(金) 午前	応用統計チュートリアル	於 昭和女子大学(三軒茶屋)
5月25日(金) 午後	計量生物チュートリアル	於 昭和女子大学(三軒茶屋)
5月26日(土)	計量生物学会シンポジウム	於 昭和女子大学(三軒茶屋)

報告事項：

1. 横幹連合理事候補者の推薦について

横幹連合 2007 年度役員候補推薦委員会委員長より、2007・8 年度役員候補推薦依頼が来たので、会長・副会長で相談した結果、椿理事を、横幹連合理事候補者として推薦することとした。

2006 年度 第 7 回 理事会 (メール)

開催期間：2007 年 2 月 5 日(月)～2 月 12 日(月)

開催方法：e-mail による討議

出席者：田栗(会長)、鎌倉(副会長)

林、青木、藤井、濱崎、西井、岸野、富澤、渡辺、栗木、清水、椿、広津、宮川 各理事

議 事：

1. 日本学士院会員の推薦について

日本学士院では、「理学」に 2 名の欠員があり、新会員の推薦受付を行っている。そこで本学会からは赤池弘次学会員を推薦することとした。

報告事項：

1. 学会賞の授与式および記念講演について

企画理事と編集理事で検討していた学会賞に関する日程だが、年次大会のプログラムの関係もあり、以下の日程で授与式および記念講演を行なうこととした。

(1) 授与式：5 月 24 日の年次大会時

(2) 記念講演：9 月上旬の連合大会時

2. 日本リモートセンシング学会との共同セッション開催について

9 月に神戸大学で開催される統計関連学会連合大会において、本学会と日本リモートセンシング学会の共同セッションを開催することとし、企画理事を中心に作業を進めている。